

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒータ 取付説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

別売形名	適用機種
PAC-SG51BH (200V, 150W)	MPUH-40~56HA PUH-40~112GA (M) PU(H)Z-45~100GA PUHG-3-4MGA PUZ-J112GA
PAC-SG52BH (200V, 150W)	PUH-125~180GA PUZ-125~180GA PUHG-5MGA PUZ-P112GA (2)

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期の室外ユニット熱交換器下部に発生する積水の抑制対策およびドレン抜きの水結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
 - ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で説明しています。
- | | |
|------------|--------------------------------------|
| △警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。 |
| △注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または財産・家財などの損害に結びつくもの。 |
- 取付け完了後、電気配線の接続が確実に行われていることを確認するとともに、この取付説明書は、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 ●お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては漏水や感電・火災等の原因になります。 ●取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。 ●部品に不備があると、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水漏れの原因になります。 ●配線は、指定の電線を併用して確実に接続し、端子接続部に電線の外気が伝わらないように確実に固定する。 ●接続が不適切になると、火災の原因になります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●取付けは、この説明書にしたがって確実に行なう。 ●取付けに不備があると、部品によっては漏水や感電・火災等の原因になります。 ●電気工事は、「電気設備に関する技術基準」(「内線規定」)を遵守し、取付説明書にしたがって施工してください。 ●電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。 ●室外ユニットのサービスパネルを確実に取付ける。 ●取付けに不備があると、ほこり、水などにより感電・火災の原因になります。 |
|--|--|

注意

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。 ●万一ガスが漏れたらユニットの周囲にたまるため、爆発の原因になることがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●アース工事を行なう。 ●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電柱のアース線に接続しない。 ●アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。 ●電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。 ●漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になることがあります。 |
|--|---|

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

① ドレンカバー	② アルミシート	③ ベースヒータ	④ ヒータ固定金具	⑤ ネジ (4×10)	⑥ バンド	⑦ 外気温度センサー
① 1列熱交換器 換機のみ使用 4枚	② 1列熱交換器 換機のみ使用 4枚	③ 1セット	④ 2個	⑤ 2本	⑥ 7本	⑦ 1セット
⑧ ベースヒータ本体 1台	⑨ 四方舟中継線 1セット	⑩ 圧着スリーブ 2個	⑪ ファスナー 2本			

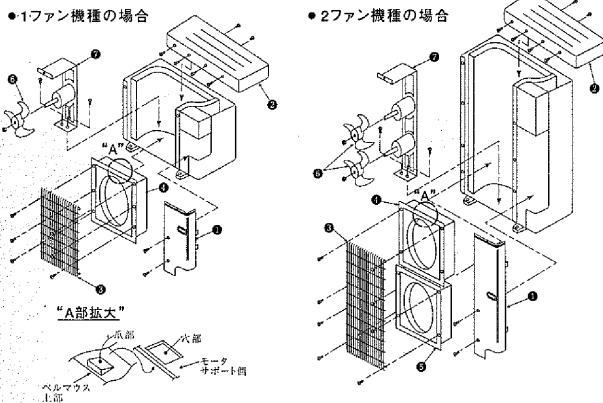
2. 取付準備

※ベースヒータの組込みは室外ユニットを掲げる前に行なっていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。

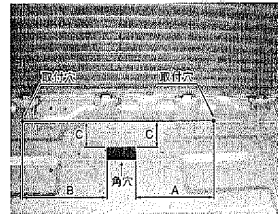
3. ベースヒータ組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行ないます。



- ① サービスパネルの取外し
前側3本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- ② トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
前側3本、後側2本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- ③ ワイヤグリルの取外し
1ファン機種は6本、2ファン機種は8本のネジをそれぞれ取外し、ワイヤグリルを前側に引き取外す。
- ④ ベルマウス取外し
ベルマウス上部「A」のモータサポートとの引っ掛け部を取外し全体を上側に持ち上げてユニット本体から取外す。
- ⑤ ベルマウス取外し(下側)
取外しは④と同様ですが、形状が異なりますので組立の際、注意してください。
- ⑥ ファン取外し
ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。
- ⑦ モータサポート取外し
モータサポート固定ネジ2本を取外し、全体を前側にスライドさせ取外す。

4. ベースヒータ取付穴の加工



各部品を取り外した後、左図位置にベースヒータ取付用の穴を孔けてください。取付穴の位置は室外ユニットにより異なりますので、下表示法に従い、誤りのないよう加工してください。

	A	B	C
PAC-SG51BH	150	150	55
PAC-SG52BH	150	230	55

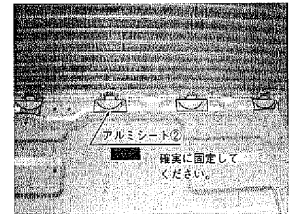
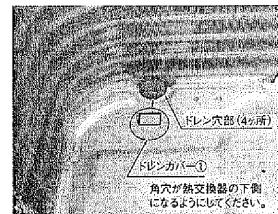
※上記寸法はモータサポート角穴を基準とした寸法値です。
※取付穴はφ3.0~φ3.1です。

5. ドレンカバーの取付け

※本品は1列熱交換器機種には必ず、取付けてください。

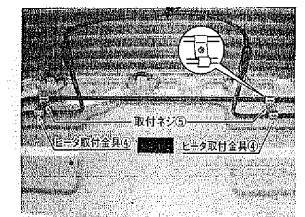
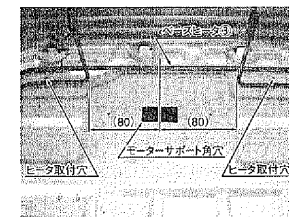
- 熱交換器下部のドレン穴部にドレンカバー①を下図方向に向けドレン穴を覆います。
- ドレンカバーは、下図のようにアルミシート②で固定し、計4カ所のドレン穴について作業を行なってください。

※ドレンカバーの穴部が奥側(熱交換器下側)に向いている位置であることを必ず確認してから、確実に固定してください。



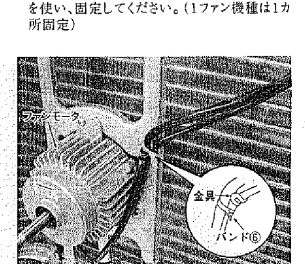
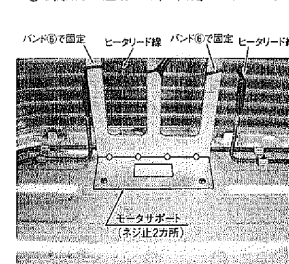
6. ベースヒータの取付け

- モータサポートの角穴部中心にベースヒータ③を仮置きしてください。(下図参照)
- ヒータ取付金具④と固定ネジ⑤で、ベースヒータを固定してください。



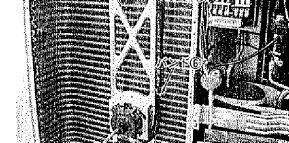
7. モータサポート、ベースヒータリード線の固定

- モータサポートにベースヒータリード線をバンド⑥を使用して左右2カ所固定してください。
- ベースヒータリード線をファンモータ右上のファンモータリード線用固定金具の下側にバンド⑥を使い、固定してください。(1ファン機種は1カ所固定)



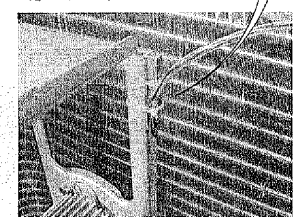
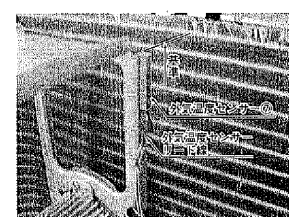
8. 外気温度センサーの取付け

- 2ファン機種は左図の様に上下2カ所にバンド⑥で固定してください。

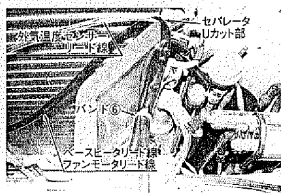


8. 外気温度センサーの取付け

- 外気温度センサー⑦の感知部に貼付けの両面テープ隠し紙をはがし、モータサポートのフランジ上面を基準に、リード線を下方に向け固定してください。
- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU曲げし、上下2カ所をバンド⑥で固定してください。尚、下側のバンド⑥は外気温度センサーリード線と一緒に固定してください。

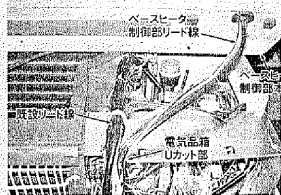


9. 各リード線の固定



●外気温度センサー、ベースヒータ、ファンモータの各リード線を、セパレータリカット部に押し込んで左図の位置にバンド⑥で固定してください。

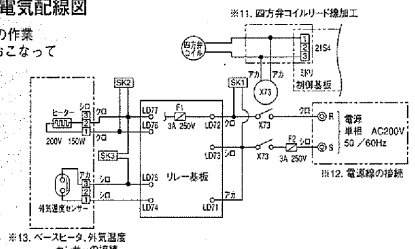
10. ベースヒータ制御部リード線の固定



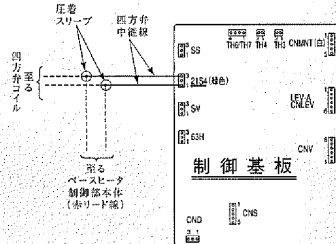
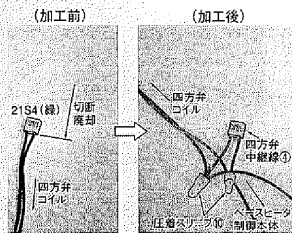
●ベースヒータ制御部本体を、左図のように半開きの状態にして、ベースヒータ制御部リード線を電気品箱リカット部に押し込み固定してください。

☆PAC-SG51/52BH 電気配線図

右配線図を参考に11~13の作業(リード線接続作業)をおこなってください。

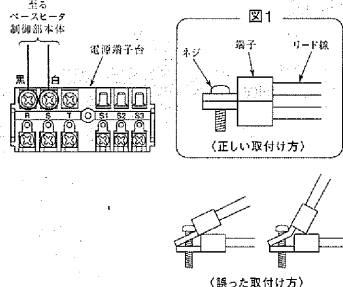


11. 四方弁コイルリード線加工



- 次の手順で作業を行ってください。
- i) 電気品箱内にある制御基板内の、四方弁コイル(21S4のコネクター)リード線を取外してください。(加工前参照)
- ii) 四方弁コイルリード線のコネクター(緑)を切断し、リード線の先端は圧着スリーブ⑩でカシメ固定する為、10mmの皮むきを行ってください。
- iii) 皮むきをした四方弁コイルリード線、ベースヒータ制御部本体③からの皮むきされた赤いリード線、四方弁中継線⑨をそれぞれ圧着スリーブ⑩でカシメて固定し、電気品箱内に収めます。(上右図、加工後参照)

12. 電源線の接続

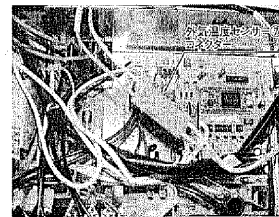
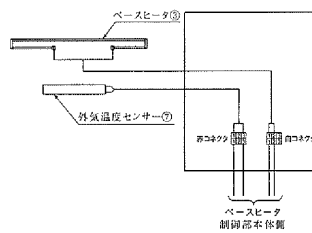


●ベースヒータ制御部リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に既設の端子と共締めしてください。
※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

△警告

端子の取付けは、緩みのないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

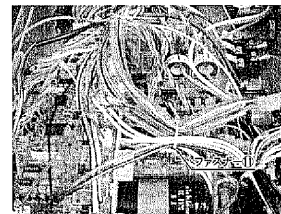
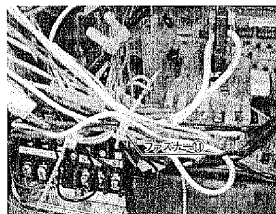
13. ベースヒータ、外気温度センサーの接続



●各部品のリード線端子の色とベースヒータ制御部から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。尚、上図右側のものは外気温度センサーの端子を接続したものです。

14. 各リード線の固定

●各リード線の接続後に、ファスナー⑪を使い2カ所を固定してください。尚、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る仕様になっておりますので、場合によっては余る場合がありますが、下図を参考にリード線を束ね電気品箱内に取めてください。



15. 再組立

●以上のようにベースヒータの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
※プロベラファンは必ず5.7±0.3N・m(57±3kg・cm)のトルクで締付けてください。

△警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。